



県南地方の農林業



平成25年 8月

清らかな源流を生かし、次代につなぐ県南の農林業



1 県南地方の概要

(1) 地勢

県南地方は、首都圏から東北圏への入口に当たる福島県の最南端に位置し、栃木県・茨城県に接し、白河市をはじめとする1市4町4村からなり、その面積は1,233.24km²(西白河地方612.30km² 東白川地方620.94km²)で、県土の8.9%を占めています。

東部に阿武隈山系、西部に奥羽山系、南部に八溝山系があり、西白河地方を東に向かって流れる阿武隈川と東白川地方を南に向かって流れる久慈川の流域に沿って平野部が開けています。

(2) 気候

S56～H22の期間における管内の気候は、年平均降水量が白河1,410.9mm、東白川1,421.6mmとなっており、福島1,166.0mm、若松1,213.3mmと比べて降水量の多い地域となっています。

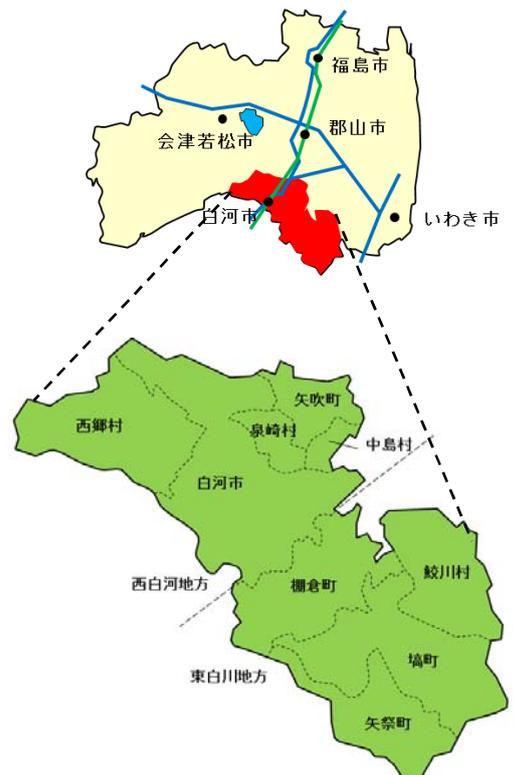
また、年平均気温は白河、東白川ともに11.5℃となっており、福島13.0℃より低く、若松11.7℃と同程度となっています。(気象庁:気象統計情報)

(3) 人口

管内の人口は、H25.7.1現在、146,138人(50,168世帯)で、県人口の7.5%(世帯数で7.0%)を占めており、その内訳を見ると、西白河地方が76.9%(同78.5%)、東白川地方が23.1%(同21.5%)を占めています。

また、H24.7.1と比較すると人口1,072人の減で、減少率は0.7%となっており、県の減少率0.8%とほぼ同じ率となっています。

(福島県:福島県の推計人口)



2 東日本大震災の被災及び復旧の概要

(1) 地震の概要

平成23年3月11日、三陸沖を震源とするマグニチュード 9.0の地震が発生しました。

管内の市町村別最大震度は白河市で県内最大規模の震度6強、西郷村・中島村・矢吹町・棚倉町で震度6弱、泉崎村・矢祭町で震度5強、塙町・鮫川村で震度5弱が観測されました。また、同年4月11日に発生したマグニチュード 7.0の地震では、中島村で震度6弱、白河市・棚倉町で震度5強が観測されました。(気象庁発表資料)

(2) 被害の概要

本地震により発生した津波や建物倒壊等により県内の死者・行方不明者は3,251人、住宅の全半壊は94,136棟と甚大な被害を受けました。

うち県南管内においては白河市葉ノ木平地区で発生した地滑りをはじめ、地震による土砂崩れ等によって死者15名、住宅の全半壊4,754棟の被害が発生しました。また、各種ライフラインや農林業施設へも多大な被害が発生し、白河矢吹地区では全長約18kmの幹線用水路(パイプライン)のうち約3kmが被災し、約2,800haの農地で営農に支障が生じましたが、平成24年5月に国による災害復旧工事が完了し、農業用水が確保されています。

(福島県災害対策本部 被害状況速報(第977報:H25.7.1現在))

(3) 復旧の状況

平成25年7月現在の災害復旧状況は、農地・農業用施設・集落排水施設で災害復旧工事320箇所のうち、完了291箇所、施工中29箇所。治山・林道施設で災害復旧工事45箇所のうち、完了42箇所、施工中3箇所となっており、施工中の32箇所は本年度中の完了を予定しています。

(平成23年度発生災害復旧事業 執行状況調べ)

3 農業・農村・森林林業の概況

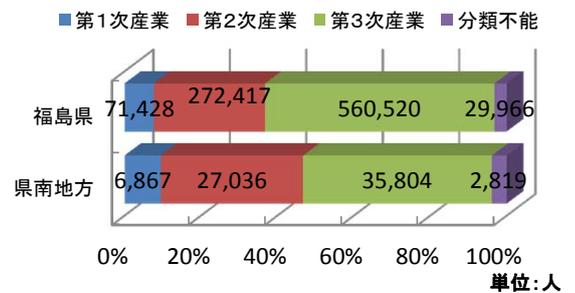
(1) 就業構造

管内の就業者総数(15歳以上)は72,526人で、産業別の内訳は、第1次産業が9.5%、第2次産業が37.3%、第3次産業が49.4%をそれぞれ占めています。

管内の第1次産業就業者の内訳は、農業が94.2%、林業が5.5%、漁業が0.3%を占めています。

(H22国勢調査)

産業別就業構造(H22)



(2) 農林業経営体

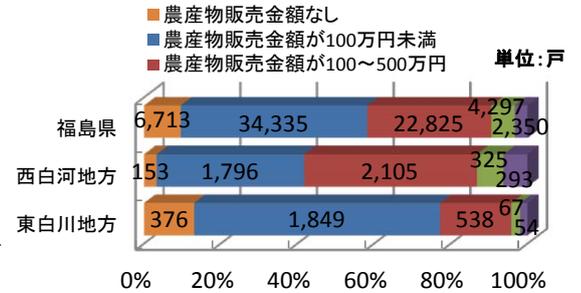
管内の総農家数は9,463戸で県全体の9.8%を占め、内訳は、販売農家が7,556戸(79.8%)、自給的農家が1,907戸(20.2%)となっています。

販売農家のうち農産物販売金額が100万円以上の農家の割合は県全体で41.8%、管内で44.8%となっています。特に、西白河地方は58.3%と大きな割合を占めています。販売金額500万円以上の農家の割合は、県全体の9.4%に対し、中島村21.8%、矢吹町23.3%となっており、この2町村が特に大きな値を示しています。

また、管内の林家数は4,641戸で、県全体の林家数42,415戸の10.9%を占めています。

(2010年世界農林業センサス)

農産物販売金額別販売農家数(H22)



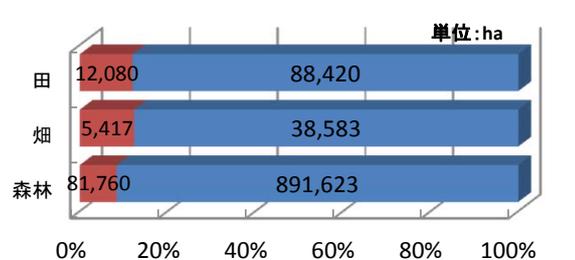
(3) 耕地面積・森林面積

管内の耕地面積は17,497ha(田12,080ha、畑5,417ha)で、県全体の12.1%(田12.0%、畑12.3%)を占めています。

また、管内の森林面積は81,760haで、県全体の8.4%を占めており、管内の総土地面積に占める森林の割合は県平均70.6%に対し、西白河地方は53.8%、東白川地方は78.7%となっています。

(H23福島農林水産統計年報、H24福島県森林・林業統計書)

耕地・森林面積(H24年度)



(4) 農林水産業総生産額

管内の農林水産業総生産額は174億3千万円であり、県全体の農林水産業総生産額1,476億1千万円の11.8%(農業12.5%、林業14.3%)を占めています。また、その内訳は農業が161億円で92.3%、林業が11億2千万円で6.4%となっています。

(福島県市町村民経済計算年報 H22年度版)

(5) 農産物の生産状況

管内における主要農作物は米をはじめ、夏秋トマト、夏秋キュウリ、ブロッコリーなどです。

農作物の作付面積(H24)は、米が9,306ha、夏秋トマトが83ha、夏秋キュウリが49ha、ブロッコリーが225haとなっています。

県全体に占める割合は、米14.1%、夏秋トマト26.6%、夏秋キュウリ7.5%、ブロッコリー70.5%を占めています。

農作物の収穫量(H24)は、米が51,350t、夏秋トマトが5,182t、夏秋キュウリが3,523t、ブロッコリーが1,809tとなっており、ほぼ前年並になっています。

県全体に占める割合は、米13.9%、夏秋トマト30.3%、夏秋キュウリ9.9%、ブロッコリー75.6%となっています。

また、夏秋トマトの収穫量は矢吹町が県内で2位、白河市が3位、中島村が5位となっています。

米「農林水産統計ふくしま(H24.12.20公表)」

夏秋トマト、夏秋キュウリ「福島県農林水産統計年報(H23)」

ブロッコリー「県南農林事務所農業振興普及部調べ(H24)」

販売目的で作付けた農家数は、米が6,780戸、トマトが547戸、キュウリが548戸、ブロッコリーが473戸となっており、県全体に占める割合は、米11.4%、トマト10.1%、キュウリ7.2%、ブロッコリー15.7%となっています。

管内の乳用牛、肉用牛、豚の飼養頭数は、乳用牛が3,787頭、肉用牛が8,563頭、豚が35,820頭となっており、県全体に占める割合は乳用牛19.7%、肉用牛13.6%、豚26.3%となっています。(2010年世界農林業センサス)

管内のH22の素材生産量は157千m³であり、前年H21の154千m³と比べると、横ばい傾向で推移しています。

また県全体に占める割合は20.6%となっており、人工林率が高い県南地域は、木材供給の拠点となっています。

H23の木炭・生しいたけの生産量は、木炭が85t、生しいたけが395tとなっており、前年のH22の生産量、木炭303t、生しいたけ1,145tと比べると、大幅に減少しています。

また県全体に占める割合は木炭28.7%、生しいたけ20.9%となっています。(H24福島県森林・林業統計書)

(6) 農林地除染の実施状況

白河市、西郷村、泉崎村、矢吹町、棚倉町、鮫川村の6市町村において除染を実施しています。

また、管内全市町村において、カリ肥料の施用による、放射性物質の吸収抑制対策を進めています。

(7) 放射性物質モニタリング検査

H24年度の放射性物質モニタリング検査は、合計6,739件の検査を実施し、山菜類、水産物、牧草等の一部を除き、基準値を超えたものはありませんでした。

(8) 米の全量全袋検査

管内では27ヶ所の検査場で、32台の検査機器を導入して約160万袋の検査を実施し、基準値を超えたものはありませんでした。

(9) ほ場整備の状況

管内の耕地面積のうち、H24年度末までの水田整備面積は、8,154ha、整備率は74.1%となっており、県全体の整備率70.3%を若干上回っています。(「福島県のほ場整備率」：福島県農村基盤整備課)

(10) 農業集落排水処理施設の整備状況

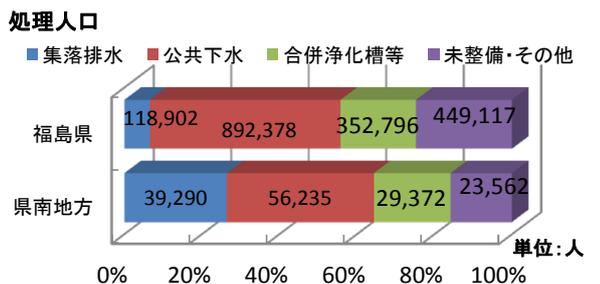
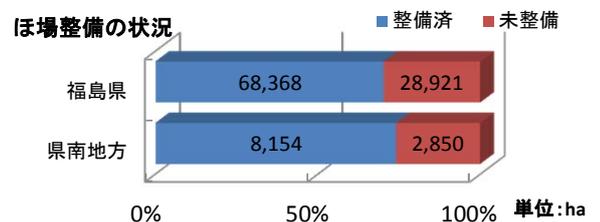
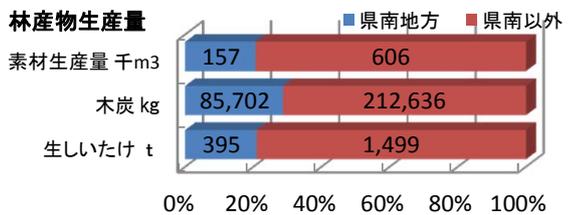
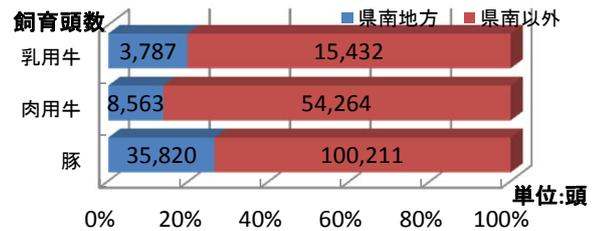
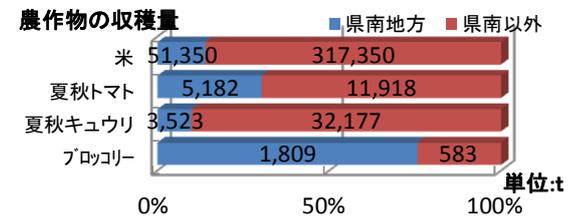
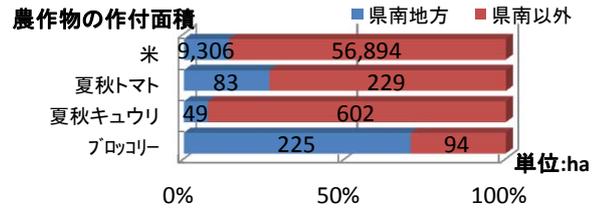
H23年度末の公共下水道等を含めた汚水処理施設等の普及率は84.1% (うち、農集排26.5%)となっており、県平均の75.2% (うち、農集排6.6%)を上回っています。(福島県統計年鑑2013)

なお、東日本大震災で被災した34地区については、全地区で復旧工事が完了しています。

(11) 林道の整備・保安林の指定状況

管内におけるH23年度末の林道延長は380,294mで、林道密度は7.69m/haとなっており、県平均の林道密度7.25m/haを上回っています。なかでも、東白川郡については10.85m/haと県内で最も高い林道密度で、素材生産に大きく貢献しています。

また、管内におけるH23年度の保安林面積は4,308haで、S55年度の保安林面積(2,286ha)の約2倍まで伸びており、安全・安心な暮らしの実現を図るため、計画的な保安林の指定と保安林内の森林の維持造成、さらには計画的な治山事業を実施しています。(H24福島県森林・林業統計書)



県南農林事務所組織体制図

所長

電話:0248-23-1570

次長

電話:0248-23-1571

総務部

soumu.af03@pref.fukushima.lg.jp
電話:0248-23-1572
FAX:0248-23-1590

総務課

庶務・経理等

企画部

kikaku.af03@pref.fukushima.lg.jp
電話:0248-23-1577
FAX:0248-23-1590

地域農林企画課

農林業振興の企画・調整、管内農林業の情報提供、地域産業の6次化推進
地産地消、食育の推進

指導調整課

農業団体の指導検査
農地転用・農振除外等の許可
JAS法に基づく食品表示

農業振興普及部

shinkouhukyu.af03@pref.fukushima.lg.jp
電話:0248-23-1561
FAX:0248-23-1559

農業振興課

農業経営基盤強化促進対策、農用地流動・利用集積等、農業構造の改善、
農業振興・奨励、米の生産調整の推進

地域農業推進課

集落営農の推進、中山間地域農業の推進、
農業金融、普及指導計画の進行管理等

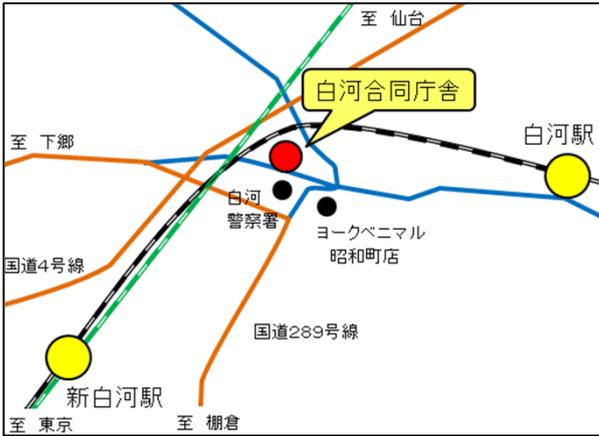
経営支援課

農業担い手の育成
地域特性を生かした作物の産地化
環境にやさしい農業の支援等
園芸産地の振興

【所在地】

総務部・企画部・農業振興普及部・農村整備部

〒961-0971 白河市昭和町269 番地



森林林業部

〒963-6123 東白川郡棚倉町大字関口字上志宝50-1



農村整備部

seibi.af03@pref.fukushima.lg.jp
電話:0248-23-1581
FAX:0248-23-1590

農地計画課

土地改良事業の法手続、土地改良財産の管理及び処分、換地業務、調査計画、国土調査、用地取得等

農村整備課

かんがい排水・ため池等整備、経営体育成基盤整備、農業集落排水整備、農道整備、災害復旧、地すべり対策等

森林林業部

sinrin.af03@pref.fukushima.lg.jp
電話:0247-33-2121(代表)
FAX:0247-33-6949

林業課

林業技術の普及、林業団体の強化育成、
林業後継者育成、緑化の啓発、森林病虫害の防除、山火事防止、きのこの生産振興等

森林土木課

山地災害の防止と復旧、保安林等の保全、
森林の開発規制、林道整備等

【ホームページ】

「県南農林」で検索してください。

【メールアドレス】

kennan.nourin@pref.fukushima.lg.jp

【編集発行】

福島県県南農林事務所
企画部 地域農林企画課
電話:0248-23-1577 FAX:0248-23-1590
〒961-0971
福島県白河市昭和町269 番地

【表紙写真】

